



新技術概要説明資料 (2 / 5)

新技術名称

遮水型排水性舗装 (POSMAC)

登録No.

1387

(特徴)

(長所)

1. 基層の耐水性が向上する：通常の排水性舗装 (PKR-T) に比べ基層の水浸前と後のマーシャル安定度の比率が大きく、遮水層となる基層の脆弱化を遅延し排水性舗装の耐久性が向上する。
2. 剥離抵抗性が向上する：通常の排水性舗装 (PKR-T) に比べ剥離率が小さく、直接雨水等が作用する基層に対して剥離抵抗性が大幅に改善され、排水性舗装の耐久性が向上する。
3. 付着性能において優位：通常の排水性舗装 (PKR-T) に比べ既設基層面との付着性能が向上する。
4. リフレクションクラック抑制効果：基層のクラックに対してリフレクションクラック抑制シートを布設した場合と同程度のクラック抑制効果を有する。

(短所)

既設基層以下が構造的に破損している場合は適用できず、事前に既設基層の健全度を確認する必要がある。

(施工方法)

混合物敷き均しに分解剤散布機構を備えた乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャー (SPAF) を使用する以外は通常のポーラスアスファルト舗装と同様である。

路面切削工→SPAFによる乳剤散布～排水性As混合物連続敷きならし→初期転圧→二次転圧→交通開放

(施工単価等)

1(1). 歩掛りあり (標準)     1(2). 歩掛りあり (暫定)     2. 歩掛りなし    1(2)

掲載刊行物

建設物価 (  有 ) ・ 無 )    掲載品目 ( POSMAC )

積算資料 ( 有 ・ 無 )    掲載品目 ( )

その他 (カタログなど)

(リーフレット・技術資料  有 )

高濃度ゴム入りアスファルト乳剤(カチオンGS-C) 240,000円/t(2011,2現在)

積算資料等

積算歩掛は「国土交通省土木工事積算基準」に準拠するが分解剤散布機構を備えた乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャーと高濃度改質アスファルト乳剤および分解剤を使用。

通常のポーラスアスファルト舗装と同じく、静岡県の共通仕様書に準拠。

新技術概要説明資料 (3 / 5)

<b>新技術名称</b>	遮水型排水性舗装 (POSMAC)	<b>登録No.</b>	1387
<b>(適用条件)</b>			
現場条件：通常の舗設（機械施工）が可能であれば可 自然条件：通常の舗設が可能であれば可 適用範囲： アスファルト舗装の場合：路面性状調査結果よりひび割れ率 $\leq 30\%$ 、MCI $> 3$ であれば適用可 クリート舗装の場合：ひび割れ度 $\leq 10\text{cm/m}^2$ 、ひび割れ幅 $\leq 0.6\text{mm}$ であれば適用可			
適用できない範囲 排水性舗装を適用する修繕工事で、既設基層以下が構造的に著しく破損している場合には適さない。			
<b>(設計上の留意点)</b>			
既設舗装の構造的な破損が懸念される場合は、事前調査により既設基層の構造的な支持力、既設基層の剥離抵抗性を確認する。			
<b>(施工上・使用上の留意点)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装路面は、スイーパーやコンプレッサ等を用い十分に清掃を行う。</li> <li>・使用する乳剤は製造後2ヶ月以内のものとする。</li> </ul>			
<b>(残された課題と今後の開発計画)</b>			
分解剤散布機構を備えた乳剤散布装置付アスファルトフィニッシャーの保有台数の確保。			
<b>(実験等作業状況)</b>			
POSMACの遮水性能を確認するため、加圧透水試験を実施した。通常の2層構造(下層が密粒度舗装)の乳剤無散布やタックコート散布0.4L/m <sup>2</sup> と比較しても透水係数が $10^{-1} \sim 10^{-2}$ 程度小さくなった。			
<b>(添付資料)</b>			
実験資料等			
遮水性能の確認			
<b>その他</b>			
樫野誠他：「遮水型排水性舗装工法の開発」、道路建設、No. 688, 2005. 7 伊藤春彦他：「遮水型排水性舗装工法への取組み」、雑誌「舗装」、建設図書、平成20年6月号			
<b>特許</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有り (番号: ) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input type="checkbox"/> 4: 無し	番号	
<b>実用新案</b>	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号: ) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4: 無し	特許番号	特許第3070737号
		番号	
		新案番号	
<b>評価・証明</b>	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号	
	証明年月日	証明年月日	
	制度等の名称	証明機関	
	制度等の名称	制度等の名称	
	制度等の名称	制度等の名称	
<b>その他の制度等による証明</b>	制度名、番号	制度名、番号	
	証明年月日	証明年月日	
	証明機関	証明機関	
	証明範囲	証明範囲	
	証明範囲	証明範囲	

## 新技術概要説明資料（4 / 5）

新技術名称		遮水型排水性舗装 (POSMAC)		登録No.	1387
実績件数		公共機関:	143	民間:	57
発注者	施工時期	工事名		CORINS登録No.	
名四国道事務所	H19.2	平成17年度 23号知立BP榎前道路舗装工事		00000638-1186-8571P	
浜松市南土木事務所	H22.2	平成21年度道整備交付金事業(市)小池三島線舗装修繕工事			
浜松市北道路維持事務所	H17.9	飯田鶴見線舗装改良工事			
名古屋市守山土木事務所	H23.1	県道関田名古屋線舗装道補修工事(守-1)			
名古屋市名東土木事務所	H22.11	県道名古屋長久手線道路整備工事			
名古屋市瑞穂土木事務所	H22.10	市道掘田高岳線舗装道補修工事(瑞-1)及び道路整備工事			
横浜市港南土木事務所	H23.2	(主)横浜鎌倉(日野中央地区)舗装補修(切削)工事(夜間)			
川崎市役所	H23.2	一般国道132号環境対策(低騒音)工事			
愛知県	H20.11	舗装修繕工事井ヶ谷工区			
中日本高速道路(株)横浜支社	H20.12	東名高速道路東京～大井松田間舗装補修工事(平成19年度)		00002400-1221-5939Z	

施工実績

新技術概要説明資料 (5 / 5)

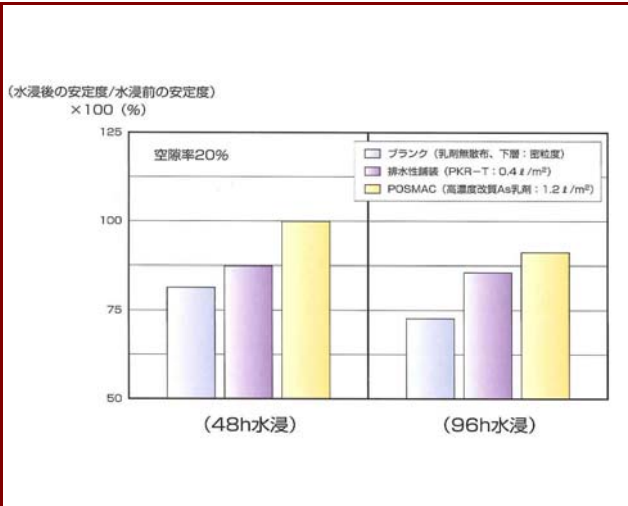
新技術名称	遮水型排水性舗装 (POSMAC)	登録No. 1387
-------	-------------------	------------



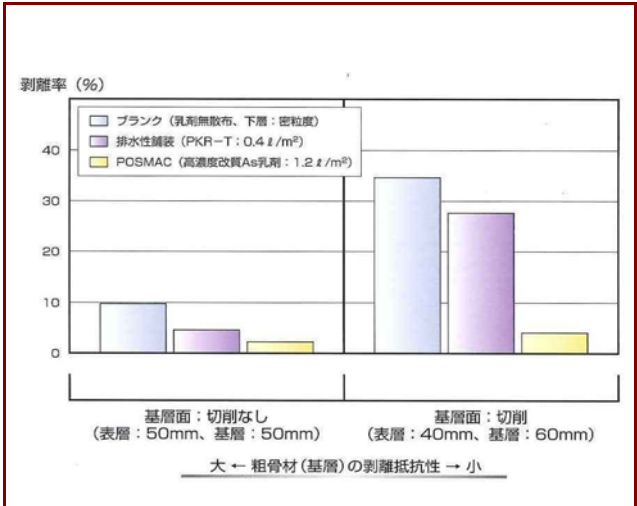
工法の概略



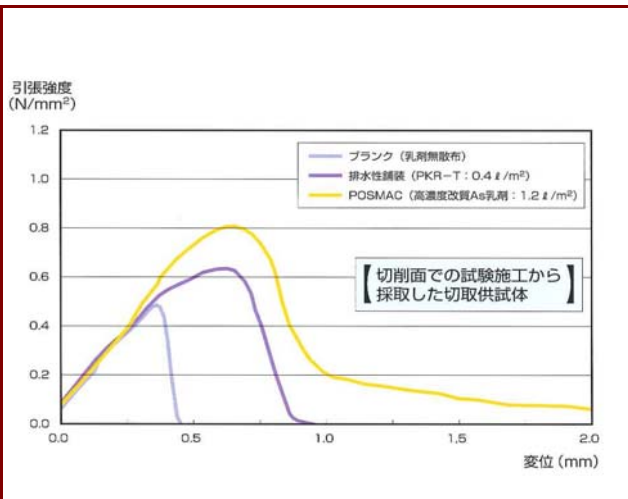
施工例



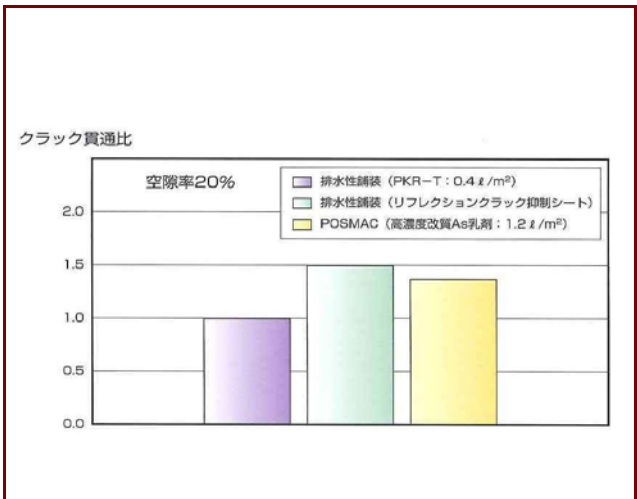
既設基層の耐水性向上



既設基層との剥離抵抗性向上



既設基層との付着性能向上



リフレクションクラック抑制効果